

# 安全のしおり



令和7年5月1日  
通算第354号  
安全・適正就業委員会

【安全は無理せず焦らず 油断せず】・【高齢者 自信過剰は事故のもと】

## 令和6年度 事故発生状況

令和6年度の事故発生状況について、残念ながら13件発生しており、内訳は傷害が8件、賠償が5件となっております。前年度と比べると1件減少となっておりますが、依然として多い水準となっております。

	令和6年度	令和5年度
傷害	8件	6件
就業中	(7件)	(5件)
就業途上	(1件)	(1件)
賠償	5件	8件
合計	13件	14件

就業中 (件)	12
就業途上 (件)	1

年齢別	(人)
60～70歳	2
71～75歳	3
75～80歳	3
81～85歳	5

傷害分類	(件)
骨折	4
虫刺され	2
打撲	1
捻挫	1

## 事故事例

### 傷害

- ・屋外清掃作業中、石を踏んでしまい、転倒した。
- ・自転車で就業先へ向かう途中、歩行者を避けようとしたところ、自転車が縁石に接触してしまい、バランスを崩して転倒した。
- ・除草作業中、草の茂みを刈っていたところ、蜂の巣に気が付かず、数ヶ所蜂に刺された。

### 賠償

- ・植木剪定作業中、ガーデンライトのケーブルに気が付かず、ケーブルを切断してしまった。
- ・刈払機で作業中、小石を飛散させ、建物のガラスを破損、車に傷を付けてしまった。

### 車両

- ・運転中、ハンドル操作を誤って、縁石にぶつかってしまった。

就業にあたっての基本は「安全が優先」で、安全はいかなるものにも優先します。日頃の健康管理も大切であると同時に、会員の皆さんが各自で安全に対する意識を持つことが何より重要です。

事故原因として多いのは、気の緩み、慢心、体力の衰え等が挙げられます。自分には無関係と過信することなく、作業前確認や細心の注意を払いながら就業していただきたいと思えます。

また、就業することは、まず健康であることが大事です。定期的な健康チェック(健康診断)を心掛けましょう。

作業に合った服装、保護具の着用や安全対策の実施、作業手順の確認や仕様書の遵守、安全を最優先に、今年度「事故ゼロ」を目指しましょう。